

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和2年10月8日(2020.10.8)

【公開番号】特開2019-63238(P2019-63238A)

【公開日】平成31年4月25日(2019.4.25)

【年通号数】公開・登録公報2019-016

【出願番号】特願2017-191478(P2017-191478)

【国際特許分類】

A 6 1 B 3/113 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 3/10 B

【手続補正書】

【提出日】令和2年8月25日(2020.8.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

被検者の視機能の検査を行う眼科装置であって、

前記被検者の左眼および右眼の少なくとも一方の前眼部画像を撮影する前眼部撮影部と

、

前記被検者の左眼および右眼の少なくとも一方に固視標を呈示する固視標呈示部と、

前記眼科装置の制御を司る制御部と、

を備え、

前記制御部は、

前記前眼部撮影部によって撮影された前記前眼部画像を処理することで、前記被検者の左眼および右眼の少なくとも一方の眼位を測定すると共に、

前記被検者の左眼および右眼の少なくとも一方に対する前記固視標の呈示と非呈示が切り替えられた呈示切替時よりも後のタイミング、および、前記呈示切替時以前のタイミングを含む少なくとも 2 つのタイミングにおける検査対象眼の眼位の測定結果に基づいて、前記検査対象眼の眼位の状態を示す眼位状態情報を生成することを特徴とする眼科装置。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の眼科装置であって、

前記制御部は、

少なくとも前記呈示切替時以後における前記検査対象眼の眼位と時間の関係を示す眼位変化グラフのデータを、前記眼位状態情報として生成することを特徴とする眼科装置。

【請求項 3】

請求項 1 または 2 に記載の眼科装置であって、

前記制御部は、

前記呈示切替時以前における少なくとも 1 つの切替前タイミングの前記検査対象眼の眼位の測定結果と、前記呈示切替時よりも後における少なくとも 1 つの切替後タイミングの前記検査対象眼の眼位の測定結果のずれ量を、前記眼位状態情報として生成することを特徴とする眼科装置。

【請求項 4】

請求項 3 に記載の眼科装置であって、

前記制御部は、

前記呈示切替時から待機時間が経過したタイミングである基準タイミング以後の、少なくとも1つの前記切替後タイミングにおける眼位の測定結果に基づいて、前記ずれ量を生成することを特徴とする眼科装置。

【請求項5】

請求項3に記載の眼科装置であって、

前記制御部は、

複数の前記切替前タイミングにおける複数の眼位の測定結果と、複数の前記切替後タイミングにおける複数の眼位の測定結果から、前記呈示切替時以前において測定された頻度が最も高い第1最頻値と、前記呈示切替時よりも後において測定された頻度が最も高い第2最頻値を特定し、

前記第1最頻値と前記第2最頻値のずれ量を前記眼位状態情報として算出することを特徴とする眼科装置。

【請求項6】

被検者の視機能の検査を行うために使用される眼科装置であって、

前記被検者の左眼および右眼の少なくとも一方の前眼部画像を撮影する前眼部撮影部と

、前記被検者の左眼および右眼の少なくとも一方に固視標を呈示する固視標呈示部と、前記眼科装置の制御を司る制御部と、

を備え、

前記制御部は、

前記前眼部撮影部によって撮影された前記前眼部画像を処理することで、前記被検者の左眼および右眼の少なくとも一方の眼位を複数のタイミングで測定すると共に、

測定された眼位と時間の関係を示す眼位変化グラフのデータを生成することを特徴とする眼科装置。